

事業実績書

事業名	城下町・宿場町のまちづくり事業	
場所	沼津市大手町地内ほか沼津駅南側中心市街地	
期間	平成 29 年 7 月 9 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	H29 7. 9	沼津ふるさと講座を 8 回開催。うち下記①、③、⑧は外部講師による市民公開講座で、市立図書館 4 階視聴覚ホール、講座室で開催。その他の 5 回は沼津史談会会員や一般市民が参加する調査・研究講座で、第一地区センターで開催。30 年 1 月以降は、歴史地図検討会を沼津史談会事務所で随時開催した。
	8. 26	① 「大久保忠佐と岡崎」市橋章男講師（おかざき塾歴史教室主宰）。講師は眼が不自由なため奥様同伴で来沼。午前中、最初の沼津藩主で岡崎出身の大久保忠佐ゆかりの地を見学。午後、視聴覚ホールで映像を用いた講座を行い、約 100 人の参加者が岡崎と沼津の歴史的つながりに理解を深めた。終了後の夕食会では、講師が交流のある徳川記念財団に関する情報やアドバイスをいただいた。その後、財団と連絡を取り、10 月には東京都渋谷区の財団事務所を訪問することができた。
	9. 16	② 調査・研究講座に参加した約 30 人により、歴史地図の作成方針を検討し、現地調査を実施。
	10. 28	③ 「武田氏滅亡と駿東」平山優講師（武田氏研究会副会長）。講師の著書『武田氏滅亡』をもとに武田氏と沼津・駿東、三枚橋城の歴史を約 120 人が学び、終了後は約 50 人で城跡付近をまち歩きした。夕食会には沼津市在住の歴史作家・鈴木英治氏や静岡市在住の同・蒲原二郎氏、横浜市在住の戦国マンガ家・すずき孔さんに加えて、沼津市歴史民俗資料館の鈴木裕篤館長も参加し、沼津兵学校を主題とした歴史小説やマンガ制作などの情報交換も行った。
	12. 23	④ 調査・研究講座で鈴木裕篤館長による沼津市指定文化財「沼津宿絵図」に関する映像鑑賞を行い、約 40 人の参加者が宿場町の賑わいを実感することができた。
	H30 1. 27	⑤ 沼津兵学校創立 150 周年記念事業実行委員会の正副委員長等を交えて、調査・研究講座を開催。歴史地図作成の進行状況や沼津病院・駿東病院記念碑設置などの検討を行った。参加者約 50 人。
	2. 24	⑥ 調査・研究講座で歴史地図の原案を映像で検討。まちづくりファンド補助金で購入したパソコン・プロジェクターを使用して、参加者約 30 人が地図の作成について活発な意見交換を行い、大きな成果が得られた。終了後は有志でまちを歩き、地図に関係する場所を現地で確認した。
	3. 11	⑦ 調査・研究講座で参加者約 30 人により、前回同様歴史地図の完成に向けて検討を行った。、終了後は有志でまち歩きを実施。
	3. 20～ 31	⑧ 「沼津城と沼津兵学校」樋口雄彦講師（国立歴史民俗博物館教授）。沼津藩の時代から沼津兵学校のころまで使用された現在の浜地町にあった馬場や厩に関連して、フランスのナポレオン 3 世から徳川家に贈呈されたアラビア馬が沼津にいたことが紹介され、参加者約 100 人が興味深く聴講した。終了後は約 80 人で沼津城や兵学校の跡地を見学。その後、近くの会議室で樋口講師を含む約 10 人が会議を行い、歴史地図の最終的な確認を映像で行った。樋口氏の意見を伺った上で、この地図の監修者をお引き受けいただくことができた。
	事業効果	<p>以上の結果、歴史地図が完成したため、沼津史談会会員で IT 企業「コントレイル」経営者の上哲也氏を通じて、東京の格安印刷会社に対して地図の印刷を発注し、A3 判 1 千枚、A4 判 2 万枚をフルカラー両面印刷で作成した。その後、地図の配布先を検討すると共に、関係者に対して事前に配布して感想や意見の聴取を行った。</p> <p>沼津市基本図のデータの上に、江戸時代末期に沼津藩が作図した「沼津城絵図」の全部、及び元禄元年に沼津宿脇本陣を務めた中村氏が描いた「沼津宿絵図」の一部を重ねて作成した「沼津まちなか歴史 MAP」は、今までにない正確で分かり易い出来栄であり、市民や沼津出身者にとって貴重な歴史学習の素材を提供できるものとなった。</p> <p>この地図を沼津市や同教育委員会を通じて今後のまちづくりに役立てていただくとともに、市のホームページに掲載することも沼津からの情報発信のために有効と思われる。</p>

	<p>特に市内の学校や生涯学習の場で活用することができれば、まちの歴史を理解し、郷土意識の向上などにもつながることが期待される。</p> <p>そのほか、ラブライバーの皆さんなど、沼津に関心を持っていただいている方々にも提供することができれば、さらに効果的と考える。</p> <p>数量的な効果測定は難しいが、2万1千枚の地図が完成したため、1枚1千円の効果を生むことができれば、21,000,000円の効果が期待できる。問題は、いかに効果的な活用ができるかにかかっており、創意工夫して、よりよい方法を考案していきたい。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>歴史地図は一応完成したが、精度を高めるための調査・研究は引き続き継続していく予定である。</p> <p>特に、今回の予算で計上した委託料が、当初予定した委託予定者が都合が悪くなったことが幸いして、調査・研究主幹の長谷川徹・渡邊美和の両氏を中心に、年度後半に仲間入りした上哲也氏など10人前後の関係者の結束により、自前で完成できたことから、継続的な活動の機運が整っている。</p> <p>平成30年度のまちづくりファンド事業で予定する「沼津兵学校の歴史を生かしたまちづくり事業」の中でも『沼津兵学校記念誌』の中に印刷するほか、より扱いやすい「まち歩き MAP」として改良することを検討している。</p>
<p>自己評価</p>	<p>今回の歴史地図は、全国的にも最高レベルの内容になったと考えている。</p> <p>特に、歴史的な建造物を表現するために、その出典を明確にする努力を惜しまなかった。たとえば昭和20年7月の沼津大空襲で焼失した沼津病院（駿東病院）の位置が分からずに困っていた時、明治史料館の木口亮主任学芸員のヒントと市資産税課長の勝又恵三さんの尽力により、何とか解明することができたことが、その後の調査・研究活動の弾みをつけてくれたことは大変有難かった。</p> <p>どこに出しても恥ずかしくない地図ができたと自信を持って言える。</p>